

(臨床研究に関する公開情報)

江南厚生病院では、下記の臨床研究を実施しております。この研究の計画、研究の方法についてお知りになりたい場合、この研究にカルテ情報を利用することをご了解できない場合など、お問い合わせがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。なお、この研究に参加している他の方の個人情報や、研究の知的財産等は、お答えできない内容もありますのでご了承ください。

[研究課題名]

ナビゲーションガイド下ハイスピードドリルを用いた中下位頸椎椎弓根スクリュー刺入

[研究責任者]

江南厚生病院 整形外科 佐竹宏太郎

[研究の概要]

第3頸椎から第6頸椎までの椎弓根スクリュー(CPS)を用いての頸椎後方固定術を行った症例を対象とします。これを、スクリューの骨孔作製においてナビゲーションガイド下マニュアルプローブ (MP) を用いた MP 群(2016. 4～2017.2 施行)と、ナビゲーションガイド下ハイスピードドリル (ND) を用いた ND 群 (2017.3 以降施行)の 2 群に分けます。術後 CT 軸位像にて CPS 逸脱 (Neo らの分類) とその逸脱方向を評価し、2 群間で比較します。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

2016 年 4 月 1 日から 2019 年 3 月 31 日までの期間中に、当院にて頸椎後方固定術を行った方。

●利用するカルテ情報

年齢、性別、身長、体重、術前診断、手術記録

[個人情報の取扱い]

この研究では、お名前、住所など、患者さんの直接特定できる個人情報は使用しません。研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

[問い合わせ先]

●研究責任者：江南厚生病院 整形外科 佐竹宏太郎

電話 0587-51-3333